

社会保障こぼれ話

任意制の健康保険

(イスラエル)

この国には、クバト・ホリムの健康保険制度が任意制の私的な健康保険として実施されている。この保険制度はテル・アヴィヴにある労働組合の全国的な連合体が設け、かつ運営している私的な制度で、公的な健康保険制度をもっていないこの国の社会保障制度を補足している。

この制度は1978年に約280万人の被保険者を抱えており、この人数は全人口の約77%に当る。保険でカバーされたこれらの人びとは、全国的な組織に加盟する労働組合員とその扶養家族、および、65歳以上の高齢者を含んでいる。なお、この制度は、労働組合員以外に、労働組合に関係のない自営業者とその扶養家族にも、保障の網を広げて、加入を認めている。

全国的な労働組合の連合体に所属し、かつこの健康保険制度を設け、かつ、運営しているクバト・ホリム (Kupat Holim) という組織の最も重要な役割の1つは、健康保険を作っているだけではなくて、保健施設を建設し、所有し、さらに、運営し、また、医師、看護婦、パラ・メディカルのスタッフ、管理・運営や訓練・研究のスタッフを常備の職員として雇用していることがある。(なお、医療、材料・器具、薬剤などの購入と配布も含まれる)。現在、クバト・ホリムは全国の各地に8病院をもっておりこれらの病院のベッド数は全国の約3分の1を占めている。また、これら

の病院の存在しない地域では、被保険者のために、政府と交渉して決定した料金で、国立もしくは他の病院が利用できるし、診療所も同様である。なお、クバト・ホリムは全国に1,400の診療機関(救急などを含む)を設けており、病院外の診療活動を提供している。ちなみに、これらクバト・ホリムの病院や診療所などの医療施設は、地域社会の住民に対する診療や保健関係の活動も担当している。

病院は総合病院と特殊な病院で構成され、リハビリテーションの分野の活動にも従事している。最近では、歯科診療の施設が設けられたが、しかし、歯科はまだ健康保険でカバーされていない。現在、歯科診療はクバト・ホリムの被保険者に対して、私的な開業医より安い料金で利用させている。

この健康保険制度を実施するために、全国は14地域に分けられ、それら各地域の人口は10万人から50万人(平均20万人)にわたっている。この制度は中央集権的に運営され、各種の管理・運営、財源調達、教育・訓練などのあらゆる分野が中央に集中されている。財源調達では、財源は主として拠出に依存しており、毎年の予算は各地区のニーズに応じてそれぞれの地区に配分され、各地区の活動に充当される。

最近の特殊な動きについて付言すれば、1977年7月から、ある名目的な一部負担(1イスラエル・ポンド)が診療所で処方された薬剤に要求されている。もっとも、3歳未満の子供と特殊な慢性疾患、この一部負担を免除されている。これ以外にも、一部の診療に一部負担が要求されるが、これらの一部負担は、診療担当者に直接に支払うのではなくて、管理・運営機関に支払う方法が用いられている。

なお、医療上必要な資材・器具、薬剤などについて付言すれば、これらは国内および各国から集められ、テル・アヴィヴに設けられた施設で集中的に管理され、各地の医療機関の要求に応じて、毎日トラックで配送され

る。それらの中には、日本の製品も含まれている。また、一部の薬剤は外国から原料もしくは半製品を輸入し、この施設で製造・加工している。

資料 主として下記による。

Kupat Holim Health Insurance

Institution (Israel), Asian News Sheet,

Vol. IX. No. 3, July 1979, pp. 11~12.

(平石長久 社会保障研究所)



編集後記

晴れた日の朝、雪をまとった富士山が美しい。この季節には、些細なことが死に結びつく雪と氷の山を、よく1人ではいずりまわっていた。泰平の世で安易な暖衣飽食に馴れるのは恐い。そんなものに背を向けて、夏とほとんど同じ姿で、木枯しの東京をうろついている。雪の舞う北海道、東北、上越などにも、その姿で出かけた。そもそも、冬のコートや下着などの贅沢な物はないのである。厳寒に夏のような姿はいかにもみすぼらしく、また、衰れに見えるかも知れない。それは他人から見ての話である。冬山で死と隣合せになる自然のきびしさを楽しむには、平安な日々を送る人びとの意見などはどうでもよいことで、真冬を夏姿で過ごすのもいいものだ (平石)

海外社会保障情報 No. 48

昭和54年12月25日発行

編集兼発行人 社会保障研究所

〒100 東京都千代田区霞が関3-3-4

電話 03(580)2511

製作所 和光企画出版株式会社 03(564)0338
